この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 「地域在住高齢者におけるバランス能力と脊椎矢状面アライメントの経時的変化との関連：10 年間の縦断研究」
	●研究の対象 愛知県東栄町において 2014 年から 2024 年に実施された運動器検診に 4 回以上参加した 50 歳以上の１８５名
	●研究の目的 年齢を重ねると、背中が曲がったり、体の重心が前に移動したりするなど、背骨の形や姿勢が少しずつ変化することがあります。このような変化は、腰痛や歩行、日常生活の動作などにも影響する可能性があります。一方で、同じように年齢を重ねても、背骨の変化が大きい方と小さい方がいることが分かっていますが、その違いに関係する要因については十分に明らかになっていません。 そこで本研究では、東栄町運動器検診に参加された方の過去の検診データを用いて、検診時のバランス能力と、その後の背骨の姿勢の変化との関係を調べます。特に、開眼片脚立位（目を開けた状態で片足で立つ検査）の時間をバランス能力の指標として、その後 10 年間の背骨の姿勢の変化との関連を検討します。 本研究により、将来的に背骨の姿勢が変化しやすい方を、簡単なバランス検査によって把握できる可能性が明らかになることが期待されます。将来的には、高齢者の姿勢や身体機能の維持、健康寿命の延伸に向けた予防や健康づくりに役立つ知見につながることを目指します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2028 年 12 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日

	●他の機関に提供する場合には、その方法 東栄診療所から浜松医科大学にデータの提供が行われます。提供方法は、CD-R を郵送します。データには個人を特定できる情報は含まれません。特定の個人を照合するための情報は、提供元で保管・管理します。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 〇患者背景：年齢、性別、身長、体重、BMI 〇運動機能検査：開眼片脚起立 〇画像検査：全脊椎単純 X 線像（脊椎矢状面パラメータ）
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 責任者名：整形外科　診療助教　井出浩一郎 既存試料・情報の提供を行う機関： 東栄診療所 丹羽美和子
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望

	された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　整形外科学講座 担当者：　井出浩一郎 TEL：　053-435-2299